

あつぷる通信

特定非営利活動法人すてっぷ・あつぷる 地域子育て支援センターあつぷる

TEL : 090-5764-4428 TEL/FAX : 0553-39-9382

2021年度の主な活動とのべ参加人数

1号事業	子育て・親育ち	629名
2号事業	一時預かり	1313名
3号事業	子育て支援拠点	4973名
4号事業	個人の暮らしをサポート	0名
5号事業	子ども放課後	535名
6号事業	中高大生インターンシップ	70名
7号事業	他団体との協働	44名
8号事業	女性のからだと心を支援	138名



代表理事挨拶

2021年度はコロナ禍で改めて私たちにとって必要なこと・大切なことを考える機会になったような気がします。1年間で振り返ってみました。

2021年を振り返って

コロナの感染状況に一喜一憂しながらも、長期完全休館することはなく工夫をしながら活動を続けていきました。結果的に支援センターや一時預かりの利用者は予想以上に多く、改めて子育て中の親にとって仲間と集うことは必要不可欠であると確信しました。

今年度スタートした「相談支援の強化」も徐々に軌道に乗り、今後さらに市と連携しながら進めていけそうです。

また、ZOOMの活用やSNSの発信にも取り組んで、新たな発見がありました。

運動プログラムなどの法人活動は、引き続き人数制限で法人経営としては厳しい状況が続いていますが、子育て中のママだけでなく女性全般のからだと心の健康支援は、コロナ禍で一層必要性が高まっていますので工夫しながら続けていきたいです。

高校生のインターンシップもニーズが多く、学生たちにとってより良い活動を提供できるよう今後の展開も考えていきたいと思っています。

小学生企画は、冬休みに2年ぶりに書道ができました。塩山高校だけでなく山梨高校の生徒も参加。思いがけないところで交流ができたことと高校生にとっても嬉しい機会となりました。

キッズダンスは1、2月は完全に休止で子どもたちにはかわいそうでしたが、3月24日にはお母さん向けの発表の場を設けLINE@やInstagramで配信できました。今年は機会があればイベント参加も目指していきたいと考えています。

代表：塚田純子



TOPIC

特集①新事業&イベント紹介
障害児支援、ダブルケアのイベント、
不妊治療座談会

特集②2021年事業報告
子育て支援センター&一時預かり 担当者インタビュー
情報発信について

つながる・めぐる支援の輪・・・周産期から産後へと、そしてこれから親になる青年期へと、世代を超えてつながっていく「助け・助けられる」事業を展開しています。

男女共同参画について考える

「めざせ男女共同参画先進県に！」なんて取り組みが行われている本県、今年は法人としても身近な課題に関わる助成金事業に挑戦しました。基幹施設統廃合問題で揺れている今、改めて男女共同参画を考えてみませんか？

男女共同参画補助金事業① ダブルケアイベント



子育てと介護を同時期に担うことを「ダブルケア」といいます。両方をまとめて相談できる機関が多くないことや悩みを共有できる人が少なく孤立しがちになることが、大変さを助長しています。

2022年から2月をダブルケア月間として、全国各地で様々なイベントが開催され、あつぷるでも支援の輪を広げるために、山梨ダブルケアの会と共催で「山梨ダブルケアワークショップ」を開催しました。ダブルケア経験者の体験談を聞き、必要な資源について出し合いながらオンラインで参加者同士の交流を深めてもらえる内容でした。参加した方からは、介護支援者・子育て支援者等分断的な支援ではなく、家族丸ごと相談できる包括的な支援機関の必要性を望む声が多く上がりました。

既にケアに直面している方は、目前のケアに精一杯で助けを求める余裕さえないこともあります。子育ての話だけではなく、介護やその他の困っている事を気軽に相談できる場所を提供し、必要に応じて支援機関につなぐことで孤立を防ぎ、負担を軽減することが大切だと感じました。今年度は、地域に根差した「ダブルケア座談会」も実施予定です。（清水）

男女共同参画補助金事業② 不妊治療座談会



不妊治療は女性だけの問題ではない、男性もパートナーとして課題と向き合い悩みを分かち合い、協力し合う気持ちを育ててほしい。

「不妊治療における男女共同参画」そんな思いで臨んだ今回のイベントは、実際に不妊治療を経験したママを中心に動いてもらったことで「不妊治療のリアル」をシェアできたと思います。

未だに「不妊で悩んでいる」というと女性だけの話題だと思われがちではないでしょうか？実際の治療でも男性より女性の負担が大きいのに、パートナーが非協力的だったり、経済負担の増加や職場の理解不足など、多くの課題と直面します。そんなリアルな体験談をただ、聞く機会だけで終わらせるのはもったいない！と、小冊子にまとめることで、現在進行形で挑戦しているママたちに役立ててもらえることができました。

このイベントをきっかけに不妊治療に関する任意団体を立ち上げ、スタートアップにもつながることができ、県内の悩むママたちの受け皿づくりに進めたことはよかったですと思います。今後、さらにじっくり取り組める機会があると嬉しいです。（山口）

こんな時期だからこそ、工夫次第であらたなチャレンジの年に。
これからもっとおもしろいこと、みんないっしょによりたいね！

甲州市地域子育て支援センター あっぷっぷ（甲州市委託事業）



●子育てセンター

利用者さんの人数が減ることなく人数制限付きながら色々な講座が実施できた1年でした。コロナ禍で外出がしづらい状況が続いている中、「先生たちと話せてよかった」というママの言葉も励みになりました。臨時閉館などやむを得ない場合もあったものの、全体的には良い成果が残せたと思います。（相澤）

●双子ちゃんいらっしゃ〜い！

昨年度は多胎児の親子5組の来館があり「他の双子ちゃんママとお友達になりたい」との希望を伺いました。年度目標「配慮が必要な家庭・多胎児家庭への相談支援体制の強化」も踏まえて3月にイベントを開催！双子育児中で、双子サークルの運営もなさっている先輩ママのサポートの中、4組の双子ちゃんとパパ・ママが集いました。

1人でも大変な赤ちゃん連れの外出が、双子・三つ子となれば更に大変！「育児が大変過ぎて記憶がない」なんて言葉も。嬉しさ2倍だけ不安も2倍…、コロナ禍で検診まで減少している今、先輩ママの言葉や同じ双子育児仲間存在は、心強いエールになったようです。

今年度は毎月第4金曜日に、定例開催していく予定です。（清水）

一時預かり「あっぷるはうす」 （甲州市補助事業）



県の産後ケア・レスパイトモデル事業の一環「一時預かり助成」で双子2組を預かり、「リフレッシュできた」と好評でした。事業終了後も利用継続が、ありました。

コロナ禍で外出もできずストレスフルだったママ達が「預かりを思い切って利用して気分転換できた」との感想も多く、農繁期のみや短期の就労、緊急時等、家庭での保育困難な場面で、子どもの健全育成と保護者の継続的なサポートができました。感染対策では人数制限と、スタッフも換気・消毒の徹底等で連携し各自意識を高めて環境整備を実施。継続利用者と信頼関係が構築できたことで保護者の抱える発達や育児不安も聞け、心理的、身体的負担を軽減する支援ができたと思います。（丸田）

託児付きママリフレッシュ講座

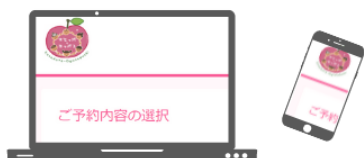


コロナ禍でも運動する場が欲しい！というママたちからの要望に応える形でした。内容的にもオンライン化は難しく、時間や規模の縮小や人数制限等、工夫を重ねました。おかげさまで好評で、継続的な実施できたのは託児があってこそですから、そこも感謝しています。

他事業でオンライン講座の課題も見えてきて、今後、この経験をより良い事業展開に活かせたらと願っています。（山口）

季刊誌定期発行

LINE@での情報発信オンライン開催



コロナ禍での臨時閉館は法人にとっても、スタッフ間はもちろんママたちや応援して下さる外部の方々への情報発信の在り方を考えるきっかけとなりました。令和3年はLINE@での発信にカレンダーを組み合わせたオンライン予約を稼働、各種講座のオンライン開催を行い、リモートで提供できるサービスを強化しました。

🍏 賛助会員募集

「すてっぷ・あっぷる」では、私たちのNPO法人活動にご賛同いただける方からのご支援を募っています。一時的な寄付にとどまらず、私たちと一緒に子育てを支える側として社会参画しませんか？

賛助会員になってくださった方には、次のような会員特典が付与されます

- ▶最新のニュースレター(会報)のご送付
- ▶ご希望により会報へのご芳名掲載、会報PRコーナーへ貴事業所、店舗の広告掲載
- ▶イベントへのご招待、ご希望によりイベントブースへのご出店
- ▶プロジェクトへのご参画

賛助会員申し込み



賛助会員お申込方法

右記QRコードのページよりご確認、必要事項をご記入の上、ご郵送またはFAXにてお申し込みください。申込書提出に併せて指定口座への賛助会費お振込みをもって、賛助会員手続き完了となります。入金確認次第、折り返し最新の会報をご送付させていただきます。

LINE@で情報発信中！ \ PCやスマホからラクラク予約！ /

毎月のおたよりや、イベント情報などを配信。
毎月のレシピなどのコンテンツも充実しています！
また、あっぷるのオンライン予約も可能です。
皆さんの登録をお待ちしています。



これまでの助成金・補助金活動

パルシステム山梨/山梨福祉財団/独立行政法人福祉医療機構(WAM)/公益財団法人キリン福祉財団/山梨県地域活性化協働事業費補助金/甲州市協働のまちづくり助成事業/(一社)山梨県労働者福祉協議会/ニッセイ財団/男女共同参画補助金



編集後記

発行を重ね、だんだん効率よく進められるようになって編集委員のスキルアップに脱帽です。定期的に発刊するというのが当初目標でしたが、今度は色々な人に届けて活動を知って頂くという第2段階を目指して頑張っていきたいと思います。

編集委員会：塚田純子（編集長）/マークル裕子（インタビュー・編集）/三森望（デザイン）

カラー版もご覧ください！

すてっぷ・あっぷるのHPでカラー版「あっぷる通信」を掲載中です。右のQRコードを読み取り、是非ご覧ください。



<https://www.kosodate-oyasodachi-apple.org/>

ご意見お待ちしております

「あっぷる通信」のご意見・ご感想をスタッフ一同お待ちしております。右下のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールフォームでご連絡いただくか、下記の連絡先にご連絡ください。



山梨県甲州市勝沼町勝沼756-1 甲州市役所勝沼支所2階
甲州市地域子育て支援施設内
地域子育て支援センターあっぷる

info@kosodate-oyasodachi-apple.org
TEL/FAX 090-5764-4428、0553-39-9382



会計のご案内

HPに収支決済報告がありますので、ぜひご覧ください。

